

令和7年度 学校関係者評価報告書

那覇市医師会那覇看護専門学校
学校関係者評価委員会

	評価項目	令和6年度	令和7年度	
基準1	教育理念・目的	4	4	
	【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる。			
基準2	学校運営	3.9	3.9	
	課題：小児看護と母性看護学担当の教員が未充足である。 今後の改善方策：引き続きホームページやナースセンター等で採用広報を行って行く。また、学務システムの見直しの継続を行い業務の効率化を進める。 【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる			
基準3	教育活動	3.9	3.9	
	課題：各科目の教育目標に向けて、履修要綱（シラバス）で明確にしており、1単位以上の講義を行う外来講師の授業評価も実施し、結果はフィールドバックしている。コマシラバス作成は行われているが、教員の個人差があるので今後、整える必要がある。（例：三観を含めた授業案もある。略案の授業案もある。） 今後の改善方策：領域で共有ファイルに保存し、ブラッシュアップを図る。また、授業参観を計画的に行い授業評価やアドバイスなどを受ける機会を増やす。 【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる			
基準4	学修成果・教育成果	3.7	3.9	+0.2
	課題：卒業生の卒後の実態を調査で把握することができていないため、卒業生の社会的評価ができていない 今後の改善方策：既卒生の実態把握ができるよう、計画を立案して実施する。（現在の勤務先・勤務年数・卒業後のキャリアアップ・働き続けられる職場環境） 卒業生の研究業績については、学会発表等、学会誌で確認し把握することは継続。 【学校関係者評価委員の意見】 既卒生の実態把握に向けてのアンケートは、就職先とも共有できるようにしてほしい。継続教育の支援につながると考える。			
基準5	学生支援	3.4	3.6	+0.2
	課題：学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。学習が継続できるように、支援の方法について検討が必要である。 今後の改善方策：学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。今後も要因分析は引き続き行う。単位未履修の学生を支援する方法として、複数学年に在籍しての単位習得を認める。 （例：2学年に在籍しながら、1学年で単位未履修の科目を受講する）			

	【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる			
基準 6	教育環境	4	4	
	【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる			
基準 7	学生の受け入れ募集	4	4	
	課題：少子化の影響により受験者数が減少しており、入学定員の確保が課題である 今後の改善方策：入試科目を 3 科目から 2 科目に変更し、受験生の負担軽減を図る 社会人受験生の確保に向け、パンフレット内容を社会人の紹介項を増やす。 【学校関係者評価委員の意見】 医療の人材確保に向けて、社会人の入学選抜への配慮や学びやすい環境を整えてほしい。社会人に対して、「専門実践教育訓練給付」の制度など、経済的支援を受けて学べることを強くアピールしていく必要がある。			
基準 8	教育の内部質保証システム	3.8	3.8	
	課題：ハラスメント等の防止規定は作成されているが、継続して教職員に対して、ハラスメント防止の研修を行う必要がある。また、「合理的配慮」の法令遵守の取り組みとして、具体的な支援体制の整備を行う。 今後の改善方策：継続して教職員に対して、ハラスメント防止の研修を計画する。 「合理的配慮」の規程に基づき、教職員で共有の場を設け支援体制の協議を行う。 特記事項：今年度、本校は行政による「看護師等養成所指導調査」が行われた。看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインに基づき指導事項について改善する。 【学校関係者評価委員の意見】 合理的配慮について該当する学生及び保護者への説明について、丁寧に行えるよう準備を進める必要がある。			
基準 9	財 務	4	4	
	【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる			
基準 10	社会貢献・地域貢献	3.7	4	+0.3
	【学校関係者評価委員の意見】 意見・提言など特になく妥当であると思われる			